

平成22年度

大分大学大学院福祉社会科学研究所

修士課程

(第2次)

学生募集要項

推薦入学（学校・事業所）

一般選抜

社会人特別選抜（シニアを含む）

外国人留学生特別選抜

出願期間：平成22年1月25日（月）～2月5日（金）

試験期日：平成22年2月13日（土）

合格者発表：平成22年2月19日（金）

平成21年11月

大分大学

追試験の実施について（お知らせ）

新型インフルエンザ等に感染し、本学大学院福祉社会科学研究科修士課程の入学試験を受験できない場合、申請により追試験の受験を認めることがあります。追試験を希望する方は、次の日時までにお電話等で本学学生支援部入試課へご連絡ください。

○申請受付日時

平成22年2月8日（月）～12日（金）
午前8時30分～午後5時00分まで ※ 祝日は除く。

（試験当日）

◎推薦入学(学校)(事業所)・社会人特別選抜(シニア)

平成22年2月13日（土）8時～13時まで

◎一般選抜

平成22年2月13日（土）8時～8時30分まで

◎社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

平成22年2月13日（土）8時～9時50分まで

なお、追試験の申請には、本学所定の追試験申請書及び医師の診断書の提出が必要です。

問い合わせ先

大分大学学生支援部入試課

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

電話 097-554-7519 FAX 097-554-7472

e-mail: nyukikak@ad.oita-u.ac.jp

目 次

	ページ
○大分大学大学院福祉社会科学研究所修士課程アドミッション・ポリシー	1
募集要項	
・募集人員	2
○推薦入学（学校）	
1 出願資格	2
2 推薦要件	2
3 出願手続	2
4 出願書類等	3
5 障がいのある者等の事前相談について	3
6 選抜方法	3
7 試験期日, 科目	3
8 検査場	4
9 合格者発表	4
10 入学手続	4
11 入学料及び授業料	4
12 注意事項	4
○推薦入学（事業所）	
1 出願資格	5
2 出願手続	5
3 出願書類等	6
4 障がいのある者等の事前相談について	6
5 選抜方法	6
6 試験期日, 科目	6
7 検査場	7
8 合格者発表	7
9 入学手続	7
10 入学料及び授業料	7
11 注意事項	7
○一般選抜	
1 出願資格	8
2 出願手続	8
3 出願書類等	9
4 障がいのある者等の事前相談について	9
5 選抜方法	9
6 試験期日, 科目	10
7 検査場	10
8 合格者発表	10
9 入学手続	10
10 入学料及び授業料	10
11 注意事項	10
○社会人特別選抜	
1 出願資格	11

2	出願手続	11
3	出願書類等	12
4	障がいのある者等の事前相談について	12
5	選抜方法	12
6	試験期日, 科目	13
7	検査場	13
8	合格者発表	13
9	入学手続	13
10	入学料及び授業料	13
11	注意事項	13

○社会人特別選抜（シニア）

1	出願資格	14
2	出願手続	14
3	出願書類等	15
4	障がいのある者等の事前相談について	15
5	選抜方法	15
6	試験期日, 科目	16
7	検査場	16
8	合格者発表	16
9	入学手続	16
10	入学料及び授業料	16
11	注意事項	16

○外国人留学生特別選抜

1	出願資格	17
2	出願手続	17
3	出願書類等	18
4	障がいのある者等の事前相談について	18
5	選抜方法	18
6	試験期日, 科目	19
7	検査場	19
8	合格者発表	19
9	入学手続	19
10	入学料及び授業料	19
11	注意事項	19

○福祉社会科学研究科（修士課程）案内

1	研究科の目的	20
2	研究科で養成する人材	20
3	研究科の教育体制	20
4	教育方法の特色	21
5	長期履修制度（2年分の授業で最長4年まで在籍することができる制度）	23
6	修士論文及び学位の授与	23
7	修了後の進路	23
8	免許状の授与	24
9	研究科の授業科目・履修方法	25

○出願様式等

入学志願書

受験票, 受験票 (大学控), 入学検定料払込証明書 (大学提出用) 貼付欄

研究計画書

推薦書 (学校)

推薦書 (事業所)

志望理由書

払込取扱票

合格通知用住所シール

受験票返送用封筒

出願用封筒

大分大学大学院福祉社会科学研究所アドミッション・ポリシー

基本理念

福祉社会の構築は人類恒久の課題です。そのために、グローバルからローカルまで、あらゆる段階で起きている社会的・経済的条件を的確に捉え、充実した福祉社会の構築に貢献できる高度で専門的な能力をもつ人材がますます必要になっています。

本研究科は、そうした社会的要請に応えるために、学際的かつ多角的なアプローチによる福祉社会科学の素養を身につけた高度専門職業人の養成に果敢に取り組みます。

教育の目標

1. 学生の立場に立った教育体制のもとで、福祉を総合的・多角的に捉え、豊かな人間性と高い倫理観を有し、高度専門職業人として社会的責任を果たす人材を育成します。
2. 社会福祉学・法学・社会学・経済学・経営学・教育学などの高度な社会科学の知識を修得し、高度な実践として、問題発見・解決・抑止のできる創造的で応用力豊かな高度職業人の養成をします。
3. 高い研究意欲、たゆまぬ探求心を持ち、総合的な判断力と実践力を身につけ専門職業人として高度な技能を有し、社会、広くは地域・国際社会で活躍できる高度職業人の養成をします。

<福祉社会政策コース>

主として社会科学の分野から福祉社会に関する理論的・政策的アプローチを基礎とする教育・研究を行っていきます。

<人間福祉社会コース>

主として社会福祉学やソーシャルワークに関する理論的・実践的アプローチを基礎とする教育・研究を行っていきます。

求める学生像

1. 幅広く、深く学び社会事象の本質を探求していく基礎的能力を備える人
2. 福祉政策や専門的な援助に関する総合的な知識を意欲的に吸収し、積極的に課題に取り組む人
3. 自己の資質を高めるために積極的に取り組み、高度専門職業人としての能力を向上させたい人
4. 高度専門職業人としての社会的使命を明確にもち、これを社会において果たすために真摯に取り組む人
5. 福祉及び関連領域の現場で福祉社会科学の視点を活かしたアプローチにより企業、地方自治体、NPOなど地域社会、広くは国際社会において活躍し社会貢献する高度専門職業人を志す人

入学者選抜の基本方針

福祉社会の形成に必要な専門知識の習得と実践能力を高めることを目的としているため、基礎学力を求めています。また社会人のリカレント教育への関心の高まりに応えるとともに地域社会との連携の強化を図っていくため、社会人としての経験にもとづく明確な問題意識と柔軟な発想を求めています。

募 集 要 項

◎募集人員

専攻名	募集人員	備考
福祉社会科学専攻	7名	推薦入学(学校・事業所)、一般選抜、社会人特別選抜(シニアを含む)をあわせた募集人員
	若干名	外国人留学生特別選抜

推 薦 入 学 (学 校)

1 出願資格

- (1) 大学を平成21年4月以降に卒業した者又は平成22年3月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を平成21年4月以降に修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を平成21年4月以降に修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者

2 推薦要件

上記の出願資格を有し、学部長又は指導教員が責任をもって推薦できる者

3 出願手続

- (1) 出願期間 平成22年1月25日(月)から2月5日(金)まで(土、日を除く)
 - ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。
 - イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。
2月5日(金)午後5時必着です。
- (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

4 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	本学所定の用紙
受験票	本学所定の用紙
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
研究計画書	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて：2,000字程度)
推薦書(学校)	本学所定の用紙
入学検定料 (30,000円) ※国費外国人留学生を除く	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ①金融機関(郵便局又はゆうちょ銀行含む)での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関(郵便局又はゆうちょ銀行含む)窓口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストア(一部)での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ (携帯版は http://daigakuje.jp/u.php?u=00041) から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。 (払込専用URL) http://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) http://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。  振込み後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書(大学提出用)」を、②の場合は収納証明書(コンビニによっては領収書)を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。 手数料は本人負担です。
返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、350円分の切手を貼ったもの。(郵送申込者のみ)
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

5 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、平成22年1月8日(金)までに、下記の事項を記載して(様式任意)、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

6 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類及び口述試験の結果を総合して判定します。

7 試験期日、科目

試験期日：平成22年2月13日(土)

試験時間	科目	備考
13:30～	口述試験	

8 検査場

大分大学経済学部棟

※13時00分までに経済学部棟正面玄関前に集合してください。

9 合格者発表

合格者は、下記の日時及び場所に掲示するとともに本人に通知します。

日 時 平成22年2月19日(金) 午前10時

場 所 大分大学教養教育棟(第一大講義室) 前掲示板

また、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

10 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続に必要な案内を送付します。

11 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(前期分 267,900円 後期分 267,900円)

注1. 入学料・授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については学生支援課奨学支援グループ(TEL 097-554-7386)へお問い合わせください。

注2. 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

注3. 入学料、授業料は改定の可能性があります。

注4. 在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

注5. 本研究科には、長期履修制度(2年分の授業料で最長4年まで在籍することができる制度)がありますので、授業料納付前に学生支援部入試課(TEL 097-554-7519)までお問い合わせください。

注6. 国費外国人留学生については、納付する必要はありません。

12 注意事項

(1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。

(2) 出願手続き後は、書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。

(3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(4) 出願にあたって不明な点等がある場合の照会は、下記に行ってください。

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7519

推薦入学（事業所）

◎募集人員は、募集要項（2ページ）のとおりです。

1 出願資格

- (1) 大学を卒業した者で、入学時において2年以上の職歴があり現在勤務中の事業所の推薦を受けられる者
- (2) 入学時において、24歳以上の者で、本学大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもので、最終学校卒業後2年以上の職歴があり、現在勤務中の事業所の推薦を受けられる者

(注) 出願資格の(2)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業生やその他教育施設の修了者にも、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めるものです。これにより出願する者は、平成22年1月8日(金)までにあらかじめ学生支援部入試課に照会してください。

2 出願手続

- (1) 出願期間 平成22年1月25日(月)から2月5日(金)まで(土、日を除く)

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

2月5日(金)午後5時必着です。

- (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	本学所定の用紙（職歴を必ず記入すること）
受験票	本学所定の用紙
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
卒業証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
研究計画書	本学所定の用紙 （主に研究したいテーマについて：4,000字程度）
推薦書（事業所）	本学所定の用紙
入学検定料 （30,000円）	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>①金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行含む）での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行含む）窓口で振込手続を行ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア（一部）での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ （携帯版は http://daigaku.jc.jp/u.php?u=00041）から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。 （払込専用URL）http://www.oita-u.net/ （携帯電話用URL）http://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。</p> <p>振込み後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書（大学提出用）」を、②の場合は収納証明書（コンビニによっては領収書）を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。 手数料は本人負担です。</p> 
返信用封筒 （受験票返送用）	本学所定の封筒。あて名等を明記し、350円分の切手を貼ったもの。（郵送申込者のみ）
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

4 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、平成22年1月8日（金）までに、下記の事項を記載して（様式任意）、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

5 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類及び口述試験の結果を総合して行います。

6 試験期日、科目

試験期日：平成22年2月13日（土）

試験時間	科目	備考
13:30～	口述試験	

7 検査場

大分大学経済学部棟

※13時00分までに経済学部棟正面玄関前に集合してください。

8 合格者発表

合格者は、下記の日時及び場所に掲示するとともに本人に通知します。

日 時 平成22年2月19日(金) 午前10時

場 所 大分大学教養教育棟(第一大講義室) 前掲示板

また、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

9 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続に必要な案内を送付します。

10 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(前期分 267,900円 後期分 267,900円)

注1. 入学料・授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については学生支援課奨学支援グループ(TEL 097-554-7386)へお問い合わせください。

注2. 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

注3. 入学料、授業料は改定の可能性があります。

注4. 在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

注5. 本研究科には、長期履修制度(2年分の授業料で最長4年まで在籍することができる制度)がありますので、授業料納付前に学生支援部入試課(TEL 097-554-7519)までお問い合わせください。

11 注意事項

(1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。

(2) 出願手続き後は、書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。

(3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(4) 出願にあたって不明な点等がある場合の照会は、下記に行ってください。

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7519

(5) 入学者のうち社会人については、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例により、2年間で修了できるように夜間の時間帯等に授業を実施します。(土・日曜に授業をすることもあります。)

一 般 選 抜

◎募集人員は、募集要項（2ページ）のとおりです。

1 出願資格

- (1) 大学を卒業した者又は平成22年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成22年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (6) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 他の大学に3年以上在学し、当該大学大学院に入学した者で、本学大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達する者

注1. 出願資格(6)及び(9)に該当する者については、出願前に入学資格の確認をする必要があるもので、平成22年1月8日(金)までに学生支援部入試課に照会してください。

注2. 出願資格(10)については、短期大学、高等専門学校、専修学校（出願資格(7)に該当する者を除く。）、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、平成22年1月8日(金)までに学生支援部入試課に照会してください。

2 出願手続

- (1) 出願期間 平成22年1月25日(月)から2月5日(金)まで(土、日を除く)

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

2月5日(金)午後5時必着です。

- (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	本学所定の用紙
受験票	本学所定の用紙
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの (出願資格(1), (3), (4) 該当者)
学士の学位授与証明書	大学評価・学位授与機構が証明したもの (出願資格(2) 該当者)
研究計画書	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて: 1, 000字程度)
入学検定料 (30,000円) ※国費外国人留学生を 除く	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>①金融機関(郵便局又はゆうちょ銀行含む)での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関(郵便局又はゆうちょ銀行含む)窓口で振込手続を行ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ (携帯版は http://daigaku.jc.jp/u.php?u=00041) から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。</p> <p>(払込専用URL) http://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) http://www.oita-u.net/mobile/</p> <p>※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。</p> <p>振込み後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書(大学提出用)」を、②の場合は収納証明書(コンビニによっては領収書)を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。 手数料は本人負担です。</p> 
返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、350円分の切手を貼ったもの。(郵送申込者のみ)
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

4 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、平成22年1月8日(金)までに、下記の事項を記載して(様式任意)、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

5 選抜方法

入学者の選抜は、外国語、専門科目、小論文及び面接の結果並びに成績証明書により総合して行います。

6 試験期日, 科目

試験期日：平成22年2月13日（土）

試験時間	科目	備考
9：00～10：00	外国語	英語（英和辞典を貸与します。）
10：20～12：20	専門科目・小論文 （専門科目と小論文は、同一時間内に行います。）	専門科目：社会福祉学，教育学，法学，社会学， 経済学，経営学から1科目選択 小論文：福祉社会に関する理解を問うものです。
13：30～	面接	面接は，個人面接で志願者の研究意欲，研究能力等を判定します。

7 検査場

大分大学経済学部棟

※8時30分までに経済学部棟正面玄関前に集合してください。

8 合格者発表

合格者は，下記の日時及び場所に掲示するとともに本人に通知します。

日時 平成22年2月19日（金）午前10時

場所 大分大学教養教育棟（第一大講義室）前掲示板

また，本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。

なお，電話による可否の照会には応じません。

9 入学手続

合格者には，合格通知書とともに入学手続に必要な案内を送付します。

10 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

注1. 入学料・授業料については，免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので，詳細については学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）へ問い合わせてください。

注2. 授業料については，希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

注3. 入学料，授業料は改定の可能性があります。

注4. 在学中に授業料改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。

注5. 本研究科には，長期履修制度（2年分の授業料で最長4年まで在籍することができる制度）がありますので，授業料納付前に学生支援部入試課（TEL 097-554-7519）まで問い合わせてください。

注6. 国費外国人留学生については，納付する必要はありません。

11 注意事項

(1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については，独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき，入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし，入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては，選考資料として利用します。

(2) 出願手続後は，書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。

(3) 記載事項に虚偽の記入をした者は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(4) 出願にあたって不明な点等がある場合の照会は，下記に行ってください。

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7519

社会人特別選抜

◎募集人員は、募集要項（2ページ）のとおりです。

1 出願資格

入学時において、次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は平成22年3月までに卒業見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成22年3月までに授与される見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了する見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了する見込みの者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (5) 文部科学大臣の指定を受けた者で入学時において2年以上の職歴がある者
- (6) 入学時において、大学卒業後5年以上経過している者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で入学時において22歳に達し、以下のいずれかの要件を充たす者
 - ① 最終学校卒業後2年以上の職歴がある者
 - ② 最終学校卒業後7年以上経過している者

注1. 出願資格(7)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設（養成施設等）の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、レポートを提出する必要があるので、平成22年1月8日（金）までに学生支援部入試課に照会してください。

2 出願手続

- (1) 出願期間 平成22年1月25日（月）から2月5日（金）まで（土、日を除く）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

2月5日（金）午後5時必着です。

- (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	本学所定の用紙（職歴を必ず記入すること）
受験票	本学所定の用紙
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
卒業証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの （出願資格（1）、（3）、（4）該当者）
学士の学位授与証明書	大学評価・学位授与機構が証明したもの （出願資格（2）該当者）
研究計画書	本学所定の用紙 （主に研究したいテーマについて：1,000字程度）
入学検定料 （30,000円）	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ①金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行含む）での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行含む）窓口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストア（一部）での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ （携帯版は http://daigaku.jc.jp/u.php?u=00041 ）から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。 （払込専用URL） http://www.oita-u.net/ （携帯電話用URL） http://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。  振込み後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書（大学提出用）」を、②の場合は収納証明書（コンビニによっては領収書）を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。 手数料は本人負担です。
返信用封筒 （受験票返送用）	本学所定の封筒。あて名等を明記し、350円分の切手を貼ったもの。（郵送申込者のみ）
合格通知用住所シール	本学所定の用紙

4 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、平成22年1月8日（金）までに、下記の事項を記載して（様式任意）、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

5 選抜方法

入学者の選抜は、専門科目、小論文及び面接の結果並びに成績証明書により総合して行います。

6 試験期日, 科目

試験期日：平成22年2月13日（土）

試験時間	科目	備考
10:20~12:20	専門科目・小論文 (専門科目と小論文は、同一時間内に行います。)	専門科目：社会福祉学, 教育学, 法学, 社会学, 経済学, 経営学から1科目選択 小論文：福祉社会に関する理解を問うものです。
13:30~	面接	面接は、個人面接で志願者の研究意欲, 研究能力等を判定します。

7 検査場

大分大学経済学部棟

※9時50分までに経済学部棟正面玄関前に集合してください。

8 合格者発表

合格者は、下記の日時及び場所に掲示するとともに本人に通知します。

日時 平成22年2月19日（金）午前10時

場所 大分大学教養教育棟（第一大講義室）前掲示板

また、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による可否の照会には応じません。

9 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続に必要な案内を送付します。

10 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

注1. 入学料・授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）へお問い合わせください。

注2. 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

注3. 入学料、授業料は改定の可能性があります。

注4. 在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

注5. 本研究科には、長期履修制度（2年分の授業料で最長4年まで在籍することができる制度）がありますので、授業料納付前に学生支援部入試課（TEL 097-554-7519）までお問い合わせください。

11 注意事項

(1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。

(2) 出願手続き後は、書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。

(3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(4) 出願にあたって不明な点等がある場合の照会は、下記に行ってください。

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7519

(5) 入学者のうち社会人については、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例により、2年間で修了できるように夜間の時間帯等に授業を実施します。（土・日曜に授業をすることもあります。）

社会人特別選抜（シニア）

◎募集人員は、募集要項（2ページ）のとおりです。

1 出願資格

- (1) 大学を卒業した者又は平成22年3月までに大学を卒業見込みの者で、入学時において満55歳以上の者
 - (2) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時において、満55歳以上の者
- (注) 出願資格の(2)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、平成22年1月8日（金）までに学生支援部入試課に照会してください。

2 出願手続

- (1) 出願期間 平成22年1月25日（月）から2月5日（金）まで。（必着）
 - ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。
 - イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。
2月5日（金）午後5時必着です。
- (2) 提出先
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

区 分	備 考
入 学 志 願 書	所定の欄はすべて記入してください。
受 験 票	写真は上半身，正面向きで，本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
成 績 証 明 書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
志 願 理 由 書	本学所定の用紙
研 究 計 画 書	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて：4,000字程度)
入 学 検 定 料 (30,000円)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>①金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行含む）での払込 本学所定の振込用紙を用い，金融機関（郵便局又はゆうちょ銀行含む）窓口で振込手続を行ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア（一部）での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ (携帯版は http://daigakuic.jp/u.php?u=00041) から払込専用ホームページへアクセスするか，直接下記URLにアクセスし，指示に従い払込手続を行ってください。</p> <p>(払込専用URL) http://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) http://www.oita-u.net/mobile/</p> <p>※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。</p> <p>振込み後は，①の場合は「郵便振替払込受付証明書（大学提出用）」を，②の場合は収納証明書（コンビニによっては領収書）を，受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。</p> <p>手数料は本人負担です。</p>
返 信 用 封 筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し，350円分の切手を貼ったもの。(郵送申込者のみ該当)
合格通知用住所シール	本学所定の用紙



4 身体等に障がいのある者の事前相談について

本学への入学を志願する者のうち，身体等に障がいのある者で，受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は，平成22年1月8日（金）までに，下記の事項を記載して（様式任意），医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

5 選抜方法

入学者の選抜は，出願書類及び口述試験を総合して行います。

6 試験期日, 科目

試験期日：平成22年2月13日（土）

試験時間	科目	備考
13:30～	口述試験	

7 検査場

大分大学経済学部棟

※13時00分までに経済学部棟正面玄関前に集合してください。

8 合格者発表

合格者は、下記の日時及び場所に掲示するとともに本人に通知します。

日時 平成22年2月19日（金）午前10時

場所 大分大学教養教育棟（第一大講義室）前掲示板

また、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

9 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続に必要な案内を送付します。

10 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

注1. 入学料・授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続は入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）へお問い合わせください。

注2. 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

注3. 入学料、授業料は改定の可能性があります。

注4. 在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

注5. 本研究科には、長期履修制度（2年分の授業料で最長4年まで在籍することができる制度）がありますので、授業料納付前に学生支援部入試課（TEL 097-554-7519）までお問い合わせください。

11 注意事項

(1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。

(2) 出願手続き後は、書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。

(3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(4) 出願にあたって不明な点等がある場合の照会は、下記に行ってください。

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7519

(5) 入学者のうち社会人については、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例により、2年間で修了できるように夜間の時間帯等に授業を実施します。（土・日曜に授業をすることもあります。）

外国人留学生特別選抜

◎募集人員は、募集要項（2ページ）のとおりです。

1 出願資格

日本国籍を有しない者であり、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成22年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了（これに準ずる者で文部科学大臣の指定したものを含む。）し、日本の大学を卒業した者又は平成22年3月までに卒業見込みの者
- (4) 外国において学校教育における12年の課程を修了（これに準ずる者で文部科学大臣の指定したものを含む。）し、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成22年3月までに授与される見込みの者
- (5) 外国において学校教育における12年の課程を修了（これに準ずる者で文部科学大臣の指定したものを含む。）し、本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達するもの

（注）出願資格（5）については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設（養成施設等）の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、レポートを提出する必要があるため、平成22年1月8日（金）までに学生支援部入試課に照会してください。

2 出願手続

- (1) 出願期間 平成22年1月25日（月）から2月5日（金）まで（土、日を除く）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

2月5日（金）午後5時必着です。

- (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

3 出願書類等

書類名	備考
入学志願書	本学所定の用紙
受験票	本学所定の用紙
成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの (出願資格(1), (2), (3)該当者)
学士の学位授与証明書	大学評価・学位授与機構が証明したもの (出願資格(4)該当者)
研究計画書	本学所定の用紙 (主に研究したいテーマについて: 1, 000字程度)
入学検定料 (30,000円) ※国費外国人留学生を除く	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ①金融機関(郵便局又はゆうちょ銀行含む)での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関(郵便局又はゆうちょ銀行含む)窓口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストア(一部)での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ (携帯版は http://daigaku.jc.jp/u.php?u=00041) から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。 (払込専用URL) http://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) http://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からはアクセスできないことがあります。  振込み後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書(大学提出用)」を、②の場合は収納証明書(コンビニによっては領収書)を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。 手数料は本人負担です。
返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、350円分の切手を貼ったもの。(郵送申込者のみ)
合格通知用住所シール	本学所定の用紙
外国人登録済証明書	日本に在住する外国人

*上記の書類は原本(ORIGINAL)とし、複写(COPY)は無効とします。(ただし、外国人登録済証明書の場合はコピー可)

4 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、平成22年1月8日(金)までに、下記の事項を記載して(様式任意)、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

5 選抜方法

入学者の選抜は、専門科目、作文及び面接の結果並びに成績証明書により総合して行います。

6 試験期日, 科目

試験期日：平成22年2月13日（土）

試験時間	科目	備考
10:20~12:20	専門科目・作文 (専門科目と作文は, 同一 時間内に行います。)	専門科目：社会福祉学, 教育学, 法学, 社会学, 経済学, 経営学から1科目選択 作文：日本語能力を測るものです。 ○いずれも日本語で解答してください。
13:30~	面接	面接は, 個人面接で志願者の研究意欲, 研究能力, 日本語能力等を判定します。

7 検査場

大分大学経済学部棟

※9時50分までに経済学部棟正面玄関前に集合してください。

8 合格者発表

合格者は, 下記の日時及び場所に掲示するとともに本人に通知します。

日時 平成22年2月19日（金）午前10時

場所 大分大学教養教育棟（第一大講義室）前掲示板

また, 本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) にも合格者受験番号を掲載します。

なお, 電話による合否の照会には応じません。

9 入学手続

合格者には, 合格通知書とともに入学手続に必要な案内を送付します。

10 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

注1. 入学料・授業料については, 免除・徴収猶予の制度があります。申請手続は入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので, 詳細については学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）へ問い合わせてください。

注2. 授業料については, 希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

注3. 入学料, 授業料は改定の可能性があります。

注4. 在学中に授業料改定が行われた場合には, 新授業料が適用されます。

注5. 本研究科には, 長期履修制度（2年分の授業料で最長4年まで在籍することができる制度）がありますので, 授業料納付前に学生支援部入試課（TEL 097-554-7519）まで問い合わせてください。

注6. 国費外国人留学生については, 納付する必要はありません。

11 注意事項

- (1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については, 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき, 入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし, 入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者については, 選考資料として利用します。
- (2) 出願手続後は, 書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした者は, 入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願にあたって不明な点等がある場合の照会は, 下記に行ってください。

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7519

福祉社会科学研究科（修士課程）案内

大分大学大学院福祉社会科学研究科は、これまでの大分大学の福祉問題への取り組みを踏まえて、国立大学の人文社会系としては最初に福祉に焦点化した大学院（独立研究科）として、平成14年4月に設置されました。

福祉政策の計画・運営力と福祉臨床に関する高度な専門知識と実践力を備えた、使命感に燃える新しいタイプの高度専門職業人の育成を目的とする本研究科では、就学意欲に燃えた多くの方々の要望に応えるため、社会人向けの特別選抜や昼夜開講などを実施します。

1 研究科の目的

本研究科では、深い人間理解を踏まえ、国・地方自治体・地域社会・企業などが「福祉社会」の形成に果たす役割を科学的に究明していくという基本的視点に立って、社会福祉学・法学・社会学・経済学・経営学・教育学などの社会科学を駆使し、社会の様々な分野で活躍する高度職業人の養成を目指します。

2 研究科で養成する人材

福祉と関わる多様な分野で活躍しうる高度な専門能力を具えた次のような人材を養成します。

- ① 福祉スーパーバイザー（ソーシャルワーカーのリーダー）
- ② 福祉アドミニストレーター（福祉施設・法人等の経営・管理者）
- ③ 地域福祉行政スタッフ（地方自治体等の福祉関係職員）
- ④ 地域福祉ビジネススタッフ（企業人、NPO職員など）

3 研究科の教育体制

本研究科では、教育体制は、二つの教育分野とその基礎となる基盤領域（コア）によって構成されます。

① 基盤領域（コア）

福祉にアプローチする基本的枠組みと実践的課題を共有するための教育研究領域として設けます。その内容は以下のとおりです。

- ・福祉社会政策の基本的枠組みを修得する「福祉法制特論」
- ・福祉臨床の原理と実践プログラムの基本的枠組みを修得する「ソーシャルワーク特論Ⅰ（原理）」
- ・福祉の実践的課題の掌握と解決の方向を探るための実践的な手法を修得する「福祉課題研究」

② 福祉社会政策分野

地方自治体・地域社会・民間企業による福祉への対応及び連携のあり方について、社会学・経済学・経営学・歴史学などに依拠したアプローチによる教育研究分野です。

- ・社会構造や社会意識の動態と変遷、福祉社会の形成・発展に関する教育研究
- ・コミュニティの活性化と福祉基盤の整備に関する教育研究
- ・市場原理、公的扶助、非営利福祉サービスの展開、公的部門と民間部門役割分担等に関する教育研究

③ 人間社会福祉分野

すべての人間が、人間としての尊厳を持ち、安心して生活できるための福祉方法論や福祉実践サービスのあり方についての教育研究分野です。

- ・地域社会の福祉環境の実状と変遷、ミクロ・マクロレベルにおける福祉実践の原理と方法論に関する教育研究
- ・高度な能力をもつソーシャルワーカーのあり方やスーパービジョン能力開発に関する教育研究

4 教育方法の特色

- ① 事例研究, 現地調査, ディスカッションなどを積極的に取り入れた実践的な教育を行い, 学際的・複合的な研究分野を開発します。
- ② 社会人学生が無理なく学習できるように夜間開講制を設けています。夜間の授業時間帯は 18 時 10 分～19 時 40 分及び 19 時 50 分～21 時 20 分です。週 3 日程度の通学で必要な単位が修得できます(次ページの時間割を参照)。また、学術情報拠点(図書館)は、平日 9 時から 22 時まで、土・日は 10 時から 19 時まで開館しています。
- ③ 指導教員は正・副指導教員制とし、学生の研究課題に応じて研究内容を深めることができるように指導します。
- ④ 学生, コア科目(8 単位)のほか, その適正, 能力, 希望する進路に応じて指導教員の指導の下に, 福祉社会政策分野と人間社会福祉分野の授業科目(講義・演習)を選択履修します。
- ⑤ 学生の進路希望に応じて、指定された授業科目について教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、医学系研究科での履修を認めるオープン科目(2 単位)を設けています。また、現代の福祉問題について一層理解を深めるために学外から講師を招き特別講義を実施しています。

平成21(2009)年度時間割

	1	2	3	4	5		6	7
月					市民参加と福祉社会特論(豊島)	マネジメント特論(本谷)	△発達社会心理学特論(前田)	◎福祉課題研究(山崎・橋本)
火		△福祉情報学特論(橋田)			共生社会特論(丸山)	家族福祉特論(根莚)	ソーシャルワーク特論Ⅱ(方法技術)(衣笠)	△学校カウンセリング特論(遠辺)
水							◎ソーシャルワーク特論Ⅰ(原理)(平塚)	ソーシャルワーク特論Ⅴ(高齢者)(平塚)
木							◎調査研究(平塚・高島・奥田・衣笠)	◎福祉社会政策演習Ⅱ ◎人間社会福祉演習Ⅱ △障害保護特論特(橋上)
金					生と死の哲学特論(黒川)		人間の歴史特論(豊田)	社会政策特論(石井)
	9:00~10:30	10:40~12:10	13:10~14:40	14:50~16:20	16:30~18:00		18:10~19:40	19:50~21:20
月		△精神医学特論(橋田)			ソーシャルワーク特論Ⅵ(精神)(橋本)	非営利組織のマーケティング特論(河部)		◎福祉法制特論(二宮)
火		△福祉建築計画特論(鈴木)					生涯発達と福祉特論(山岸)	福祉政策特論(堀田)
水							都市工と化とソーシャルワーク特論(奥田)	社会保険特論(萩野)
木		医療・福祉施設会計特論(大崎)	△地域看護管理・教育特論(井手・志賀)				◎福祉社会政策演習Ⅰ ◎人間社会福祉演習Ⅰ	◎福祉社会政策演習Ⅲ ◎人間社会福祉演習Ⅱ
金					健康・遊び福祉特論(古城・石橋)		公的年金特論(深田)	
	1	2	3	4	5		6	7

5 長期履修制度（総額2年分の授業料で、最長4年まで在籍することができる制度）

この制度では、標準修業年限を超えて計画的に授業科目を履修し修了することにより学位を取得することができます。長期履修制度を利用できる対象者は、有職者及び正規の履修期間内で修学が困難な事情がある者（家事、育児及び介護など）です。

この制度の利用は原則として入学時の申請により認められます。また、修学状況等の変動により、申請した修業年限を短縮することも可能です。

長期履修学生として認められた場合の授業料は、2年間（標準修業年限）に支払うべき授業料総額を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年（学期）に支払うこととなります。（下記の「授業料の納入例」参照）

【授業料の納入例】（年度により変更がないと仮定した場合）

標準修業年限（2年）

1年次 (535,800円)	2年次 (535,800円)	1,071,600円
-------------------	-------------------	------------

ア 入学時に申請し、3年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 (357,200円)	2年目 (357,200円)	3年目 (357,200円)
-------------------	-------------------	-------------------

1,071,600円 ÷ 3年 = 357,200円（1年間の授業料）

イ 入学時に申請し、4年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 (267,900円)	2年目 (267,900円)	3年目 (267,900円)	4年目 (267,900円)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

1,071,600円 ÷ 4年 = 267,900円（1年間の授業料）

6 修士論文及び学位の授与

- ① 学生は、原則として2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文又はリサーチペーパーを作成します。
- ② 修士論文又はリサーチペーパーの審査及び最終試験に合格することで、大分大学大学院福祉社会科学研究科を修了した者と認定され、修士（福祉社会科学）の学位が授与されます。

7 修了後の進路

福祉に対する社会的需要の高まりとともに、福祉関連施設、行政及び産業の各分野で福祉専門職員、特にその指導的役割を担う人材の需要が著しく高まっています。福祉問題の複雑化・多様化のなかで施設や行政などにおいて福祉関連専門職の社会政策的視点、専門知識や技能の高度化も必要不可欠なものとなっています。本研究科では、こうした社会的ニーズに応える人材の養成、社会人のリカレント教育を行います。

深刻な社会問題となっている児童福祉の分野では、職員の専門性の向上が求められています。本研究科では、総合的な「子ども育成計画」などを具体的に企画し、主導的に推進し得る人材を養成します。

高齢者福祉・障害者福祉の分野でも介護保険の導入、「措置からサービス選択へ」という基幹システムの転換などにより、福祉サービスの高度化・複雑化が進行し、高度専門職が求められています。

21世紀の成長産業である福祉関連企業は、福祉に関する専門的知識をもち、商品・サービスとクライアント及びソーシャルニーズのマッチングができる人材が求められています。本研究科では、新分野の

開発と運営ができる人材を養成します。

8 免許状の授与

高等学校専修免許状「福祉」

高等学校一種免許状「福祉」を取得している者が当該専修免許状に必要な単位を取得して本研究科を修了すれば、専修免許状が取得できます。

9 研究科の授業科目・履修方法

領域分野等	授 業 科 目	単位	必 修 択	履修方法等	
コ ア 科 目	福祉法制特論	2	必 修	8単位	
	ソーシャルワーク特論Ⅰ（原理）	2	必 修		
	福祉課題研究	2	必 修		
	調査研究	2	必 修		
専 門 科 目	人権の歴史特論	2	選択必修	20年度不開講	
	現代社会特論	2	選択必修		
	都市コミュニティとソーシャルワーク特論	2	選択必修		
	社会サービスシステム特論	2	選択必修		
	社会政策特論	2	選択必修		
	福祉政策特論	2	選択必修		
	社会保障特論	2	選択必修		
	公的年金特論	2	選択必修		
	公共法政策特論	2	選択必修		
	共生社会特論	2	選択必修		
	福祉社会特論	2	選択必修		
	マネジメント特論	2	選択必修		
	非営利組織のマーケティング特論	2	選択必修		
	医療・福祉施設会計特論	2	選択必修		
	市民参加と福祉社会特論	2	選択必修		
	損害保険論特研（経済学研究科）	2	選択必修	20年度不開講	
	生命保険論特研（経済学研究科）	2	選択必修		
	地方財政論特研（経済学研究科）	2	選択必修		
	福祉情報学特論（工学研究科）	2	選択必修		
	福祉建築計画特論（工学研究科）	2	選択必修		
	生涯発達と福祉特論	2	選択必修		
	ソーシャルワーク特論Ⅱ（方法・技術）	2	選択必修	20年度不開講	
	ソーシャルワーク特論Ⅲ（児童）	2	選択必修		
	ソーシャルワーク特論Ⅳ（障害者）	2	選択必修		
ソーシャルワーク特論Ⅴ（高齢者）	2	選択必修	20年度不開講		
ソーシャルワーク特論Ⅵ（精神保健）	2	選択必修			
人間社会福祉分野	家族福祉特論	2	選択必修	14単位 1 調査研究科目（2単位）を含む。 2 他研究科開設科目については、1科目2単位は修了要件単位として認める。	
	健康・遊び福祉特論	2	選択必修		
	生と死の哲学特論	2	選択必修		
	精神医学特論（教育学研究科）	2	選択必修		
	発達社会心理学特論（教育学研究科）	2	選択必修		
	学校カウンセリング特論（教育学研究科）	2	選択必修		
	生命倫理学（医学系研究科）	2	選択必修		
	地域看護管理・教育論（医学系研究科）	2	選択必修		
特 別 講 義	現代の福祉問題				いずれかひとつの講義2単位のみ認定する。 集中講義
	高齢者福祉の歩みと今日の課題	2	選択必修		
	社会福祉学研究法	2	選択必修		
演 習	基礎演習	2	必 修	8単位 修士論文又はリサーチペーパーを作成する。	
	福祉社会政策演習Ⅰ・人間社会福祉演習Ⅰ	2	選択必修		
	福祉社会政策演習Ⅱ・人間社会福祉演習Ⅱ	2	選択必修		
	福祉社会政策演習Ⅲ・人間社会福祉演習Ⅲ	2	選択必修		
			修 了 要 件	30単位	

*平成22年度開講科目については、変更の可能性あり

講義等の内容

授業科目名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
福祉法制特論	2	教授 二宮孝富	<p>規制緩和路線の下、社会福祉基礎構造改革の進展により、福祉法制は従来の弱者救済的なものから当事者の自己決定の尊重と自立支援の方向へと大きく変容した。この改革を概観し、その内容を確認するとともに、新たな法制度のもつ意義をこれまでの福祉法制全体の歴史と構造のなかでとらえ、問題点を検討する。その上で、高齢者・障害者・子ども・女性などの人権尊重と自立支援という要請を満たすためには、法制度の整備だけでは十分でなく、関連する施策や市民の取組が必要であるとの観点から、これからの福祉に関する法制度や関連施設のあり方と課題を考察する。</p>
ソーシャルワーク特論 I（原理）	2	教授 平塚良子	<p>ソーシャルワークは、個人、家族、集団、地域社会、全体社会などの諸システムを実践対象とし、その専門活動の場も広範多岐である。したがって実践方法・技術は個人対象の個別具体的な援助論から組織の管理運営論、地域福祉計画論、全体社会レベルまでの政策科学的な社会福祉計画論、社会変革の運動論としての社会活動法等々に至るまで多様な場面にわたる。本特論では、ソーシャルワークの先駆的研究や世界的にも影響を及ぼしているソーシャルワーク理論をとりあげ、思想や価値の面から理論の特質を分析し、実践の哲学を探る。</p>
福祉課題研究	2	准教授 山崎栄一 橋本美枝子	<p>福祉社会を支える高度な専門職業人を育成するには、福祉に関する実践的課題を認識し、課題解決をはかる能力を高めることが重要となる。こうした能力を高めるために、この課題研究では、今日の福祉社会や福祉関係団体、行政・生涯学習機関及び企業などが抱えている諸課題について把握するとともに、調査活動、資料検索やディスカッションなどを通じて歴史や現状を踏まえて、問題解決の方向を探る。そのために、福祉関連団体や行政・生涯学習機関及び企業などから講師を迎え、問題提起を受ける。課題解決の方向については、学生がレポートにまとめ、問題提起してくれた機関にかえすことになる。</p>
調査研究	2	専任教員 (平成 21 年度 は平塚・衣笠・ 奥田・高島)	<p>本講義では、研究論文作成に必要な視点・手続き・方法についての基礎的理解を深めることを目指す。具体的には、社会科学の視点と方法についての解説、研究論文の構成と執筆方法についての解説、主に文献研究、定性的研究、定量的研究の三つの調査研究方法についての解説を通じて、福祉社会科学研究を実施する上での基礎的な知識・理解の修得と、研究上の関心を具体的な研究テーマに絞り込むことができる論理展開についての理解を深めることを目的とする。</p>

授 業 科 目 名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
人権の歴史特論	2	教 授 豊 田 寛 三	<p>本講義では、現代日本社会の様々な人権問題について、歴史的、特に近世に焦点をあてて考察する。障害者、子ども、女性、被差別部落民など社会的弱者の各時代・地域における存在状況とその社会における位置、役割を『社会史』的な分析方法を用いて解明し、身分制社会における支配と差別のメカニズム、人権確立の過程の追及をする。講義ではディスカッションを多く取り入れる。</p>
都市コミュニティとソーシャルワーク特論	2	教 授 奥 田 憲 昭	<p>都市コミュニティの特色を社会学的視点から理解するとともに、都市コミュニティと地域福祉との関連について考察する。都市コミュニティの実証的研究はシカゴ大学のR・パークによって提唱され、彼の同僚であるE・バージェスや彼らの教え子たちによって発展させられてきた。本講義においては、まず、シカゴ学派の代表的著作であるゾーボアの『ゴールド・コーストとスラム』を講読しつつ、都市コミュニティについての理解を深めるとともに、そこに見られる都市コミュニティとセトルメント運動、コミュニティ・オーガニゼーションとの結びつきについて考察する。次に、これらを踏まえてマレー・G・ロスの『コミュニティ・オーガニゼーション』やハドレー等による『コミュニティ・ソーシャルワーク』を講読し、地域福祉の基礎理論について学ぶ。さらにこれらの基礎理論を踏まえつつ日本の地方都市における地域福祉の現状をコミュニティ・オーガニゼーションとコミュニティ・ソーシャルワークの視点から考察する。</p>
社会サービスシステム特論	2	准教授 高 島 拓 哉	<p>社会福祉基礎構造改革や地方行革・地方分権改革の動きは社会福祉サービスを含む社会サービスの供給体制に大きな変容をもたらしてきた。これについて、行政評価、民間委託・地方行革や供給制度改革、施設統廃合や市町村合併にともなう空間的再配置・編成、市民参加など地域社会との関係などに焦点をあてて講じる。</p>
社会政策特論	2	教 授 石 井 まこと	<p>社会政策の研究対象は雇用・労働問題および生活問題という広範な領域にわたる。そうした領域のうち本特論では、福祉社会の構成要素である国・地域、企業、労働者・市民の経済的・社会的関係についての事例研究を通して、福祉の基礎となる雇用・生活条件の展開についての理解・考察を深めていく。また今日、産業構造の変化や市場競争の激化のなかで非正規雇用の増大や働き方の多様化が進んでいる。それは労働条件や社会保障制度の不安定化を通じて福祉社会の形成に大きな影響を及ぼしていく可能性をはらんでいる。こうした実態についても事例研究や統計分析を通じ、理論的・実証的に検討する。</p>

授 業 科 目 名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
福 祉 政 策 特 論	2	准教授 垣 田 裕 介	<p>日本の福祉政策、あるいは福祉供給という社会のサブシステムは、今日、どのような社会経済的環境のなかであり、どのような課題に直面しているであろうか。本講義では、前半部分で、福祉政策を取り巻く今日的環境の把握を目指し、雇用・家族・福祉国家をめぐる政治経済学を検討する。後半部分では、福祉政策が直面する今日的課題として、社会的排除／包摂の議論や実態を取り上げる。</p> <p>そのことを通して、日本の福祉政策の制度や国民生活をめぐる問題を、今日の社会経済や福祉資本主義のうねりの中に位置づけて把握する視点を養う。</p>
社 会 保 障 特 論	2	教 授 棕 野 美 智 子	<p>人々の福祉にとって不可欠であり、日本経済、地域経済に与える影響も大きな社会保障だが、メディアをにぎわせる議論には制度についての正確な理解を欠いたものも多い。したがってまず、社会保障制度の基本構造と理念を正確に理解することをめざす。</p> <p>また、社会保障制度の中では、国、自治体、企業、個人がそれぞれ役割をもち、その動きが相互に影響を及ぼし合うため、制度は常に狙いとする正の効果とともに、負の影響をもつ。議論を通してそれらを総合的に考察できる力を習得する。</p>
公 的 年 金 特 論	2	教 授 深 田 聡	<p>公的年金は、我が国の所得保障制度の根幹をなすものである。</p> <p>この講義では、まず、公的年金制度の給付内容、財政方式などの仕組みについて説明し、基礎知識を確認する。そして、現在各方面から提起されている公的年金の問題点・課題についての様々な論者の意見を参照しながら制度の仕組みをもう一度見直すことで、制度についての理解を深めるとともに、年金論議の全体像の把握を目指す。</p>
公 共 法 政 策 特 論	2	准教授 山 崎 栄 一	<p>基本的には、社会福祉関連の職についている、あるいは就くことを希望する受講生を想定している。受講生には、自分たちの職場の問題点を明らかにし、それを自らで解決できるような能力を身につけさせる。現場レベルから適切な政策提言ができるような人材を育成したい。そして、単に、法制度に詳しいだけの人材を育成するのではなく、社会福祉の実態を理解し、ともに問題解決にあたるような人間性にも魅力のある人材を養成したい。他方、社会福祉のみならず、公共政策全般について、法政策学的な思考を身につけられるような人材を育成したいと考えている。そうすることが、究極的には真の民主主義の発展につながると考えている。</p>

授 業 科 目 名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
共生社会特論	2	教 授 丸 山 武 志	<p>人々は、現在まで利己心に導かれた自由な市場経済競争により、国民所得を増大し経済成長を成し遂げ、便利で効率的な社会を実現し、あり余るほどの物欲の対象物を獲得してきた。しかし他方で、そのことがいじめや老々介護などモラルの荒廃を招き、環境破壊をもたらすことにもなった。いまそうならないように、本特論では、人と人および人と自然が共生する社会のあり方を、R. オウエンなどの源流に遡りながら根本的に考えていきたい。</p>
福祉社会特論	2	教 授 阿 部 誠	<p>エスピン・アンデルセンをはじめとする「比較福祉国家論」の豊富な研究成果をうけて、日本でも、国際比較の視点にたって福祉国家や福祉社会をトータルに議論する研究が広がっている。そこでは、社会保障制度や福祉政策が議論されることはいうまでもないが、ジェンダー問題や家族政策、雇用政策などを含めた幅広い論点について分析がなされ、社会をトータルに明らかにしようとするところに特徴がある。最近では、東アジア各国の社会保障制度や福祉レジュームの研究も増えており、アジアにおける福祉国家・福祉社会の比較の議論もさかんである。</p> <p>こうした研究動向をうけて、この特研では、文献研究を通じ、アジア地域を主たる対象にして、多様な側面から「福祉社会」の国際比較を行なう。</p>
マネジメント特論	2	准教授 本 谷 る り	<p>福祉関連施設も企業等と同様、多くの組織体の一つである。全ての組織体は、所有する資源を合理的に活用することによって組織目的を効果的に達成する必要がある。福祉関連施設では、対人援助を主たる業務としており、特に人的資源の合理的なマネジメントによる事業内容の円滑な遂行が求められる。本特論では、組織体の社会的役割も視野に入れつつ、組織内の人間関係や人的資源の活用を中心に、福祉関連施設の経営者・管理者のマネジメントと経営センスに資する授業内容を講じる。</p>
非営利組織のマーケティング特論	2	教 授 松 隈 久 昭	<p>少子高齢化社会においては、高齢者・障害者を含めた生活者のニーズを分析し、効果的に福祉・医療・保健サービスを提供することが求められている。マーケティング（特に社会的マーケティング）の目的は、そのような生活者のニーズを構造的に分析し、ニーズに適合したサービスを提供し、生活者の満足度を高めることにある。本特論では、非営利的な組織である福祉施設や病院等のサービスを分析するとともに、福祉施設等の経営に関する問題を理論的・実証的に検討する。</p>

授 業 科 目 名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
医療・福祉施設 会計特論	2	教授 大崎美泉	<p>医療と福祉を取り巻く環境は、社会、経済、理論、技術といった広い範囲にわたって急激に変化し、これらの担い手である施設の経営もますます厳しいものとなってきている。そこで本講義は、DPCの導入といった医療・福祉制度全般に係わる問題からコスト解析あるいは戦略の形成といった個々の施設のマネジメントに係わる問題まで、医療・福祉に関する現代的なテーマの中からいくつかを受講生と相談の上で選択し、議論していく。</p>
市民参加と福祉社会 特論	2	准教授 豊島慎一郎	<p>本特論では、ボランティアの思想的・歴史的背景および既存の社会学的研究を踏まえて、ボランティアの実践的側面と政策的側面の接合、ボランティアと行政の関係性、そして「新しい市民社会」構築について議論および検討を行う。それと同時に、官公統計や地域調査などの各種社会調査データに基づいて社会的現実を把握するための基礎的能力（社会学研究法の基礎）の習得を目指す。なお、本特論ではディスカッションを積極的に取り入れていきたい。</p>
生涯発達と福祉 特論	2	教授 山岸治男	<p>人の生涯には、当人とその環境の相互作用において、当人の順当な発達を阻害する様々な事態の発生する場合がある。本特論では、現代社会を生活基盤に生きる諸個人のライフコースを素材に、現代人の生涯発達モデルを検討し、これを阻害する事例の研究を通じて順当な生涯発達を保障する社会システムとしての社会福祉の意義を探る。また、社会福祉を維持し発展させる上で、社会構成員たる各個人の生涯発達を保障する意義を検討する。</p>
ソーシャルワーク 特論Ⅱ (方法・技術)	2	准教授 衣笠一茂	<p>本講義では、ソーシャルワークの基礎的な概念枠組みと視点・価値への理解をふまえて、ソーシャルワークの方法として用いられる主要な12のアプローチについて紹介・解説する。また、その実践応用をはかるため、事例研究の手法を用いてアプローチを実際に活用する援助技術について解説する。こうした講義展開によって、ソーシャルワークの目的・価値を具象化する方法論・援助技術を理解・体得することを目指す。本講義の目的上、受講生には各アプローチと援助技術についての十分な事前学習と事後学習を行うことが求められる。</p>

授 業 科 目 名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
ソーシャルワーク 特 論 III (児 童)	2	林 浩 康 (非常勤)	
ソーシャルワーク 特 論 V (高 齢 者)	2	教 授 平 塚 良 子	<p>高齢者は両義的な価値が付与される象徴的な存在である。我が国では少子高齢社会論を背景に1980年代以降、高齢者対象の諸施策が急展開している。その一つの着地点が介護保険法の制定であろう。そこには高齢者の社会的扶養についての社会的合意が見られる。他面、これらの諸施策が高齢者のための諸施策になり得ているかどうか、課題も多い。本特論では、必要に応じて海外の資料を加えながら、高齢者福祉をめぐる諸施策、市民レベルの活動までを対象に老いの思想、価値の論点から分析し、高齢者福祉のあり方を探る。</p>
ソーシャルワーク 特 論 VI (精 神 保 健)	2	准教授 橋 本 美 枝 子	<p>われわれは、重篤な健康障害、深刻な生活破綻、否認、度重なる再発を呈するアルコール依存症者に対し、しばしば「困難」「厄介」「絶望的」とラベリングする。</p> <p>しかし、彼らは深刻な問題を抱えながらも生き延びる「力」を持ち、「自分で変わる人」でもある。本講義では、クライアントの弱点や欠点に焦点をあてる介入方法に批判的検討を試み、クライアントの資源と成功に焦点をあてる介入方法について考察を深める。</p>
家 族 福 祉 特 論	2	教 授 根 笈 美 代 子	<p>この世に生まれた子どもは、本来、生みの父・生みの母のもとで、慈しみられつつ育つことが望ましい。しかし、いつの時代のどのような社会でも、そのような良好な環境に恵まれない子がある程度存在することは避けられない。とりわけわが国では、毎年数千人もの子どもが、実親の手によって適切に育てられずに放置して、社会の保護を要する状態にあることが続いている。保護を要する子どもにとって、一番望ましい養育環境は「できるだけ早い時期に、実親に代わる第二の親すなわち養父母が与えられることだ」との認識は、世界共通のものになっているが、日本では実現の機会がいちじるしく乏しい。あらゆる体制が不十分で、先進国中最も劣った状況にある。諸外国の制度と実状を調べわが国への導入としたいと考える。</p>

授 業 科 目 名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
健康・遊び福祉 特 論	2	教 授 古 城 建 一 教 授 石 橋 健 司	<p>(概要) 脚筋力の低下は、高齢者が寝たきりになる原因の一つと考えられている。脚筋力の低下現象がどのように起こっているのかについて、高齢者の日常生活行動やその測定方法について議論する。</p> <p>また、どのような身体活動(スポーツ・レクリエーション)を行うことが高齢者の心身の健康維持にとって好ましいのかを議論し、高齢者の豊かな生活に貢献できるようなスポーツ・レクリエーションのあり方について考える。</p> <p>(オムニバス方式) (古城教授)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康ファラシーとその背景 2. 自己表現・実現の観点からみた健康の概念 3. 健康づくりからみたスポーツ・レクリエーションの可能性 4. 生き甲斐づくりからみたスポーツ・レクリエーションの可能性 5. 高齢者のためのレクリエーションの実際1 ＜身体的機能の維持・改善に着目して＞ 6. 高齢者のためのレクリエーションの実際2 ＜仲間づくりの技法を中心に＞ 7. 異年齢集団(高齢者と児童など)におけるレクリエーション指導の方法 <p>(石橋教授)</p> <p>下記について7回の講義を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脚筋力の測定方法について 2. 日常生活行動の記録方法について 3. データ分析の方法と実際 <p>(古城教授)</p> <p>まとめ(福祉レクリエーションの課題)</p>
生と死の哲学特論	2	教 授 黒 川 勲	<p>福祉に関する諸問題に対応するための社会政策的あるいは臨床的試みを支える基盤は人間理解にある。本特論では、人間理解のための根本的契機を「生と死」と捉え、「生き」かつ「死にゆく」存在者としての人間を全体的・本来的に考究する。考究にあたっては、西洋哲学における人間理解を基礎としながら、倫理学、宗教学の視座をも射程に入れ、内外の文献の精査と議論を行い、「生」、「死」、「人間」の本質を追求していく。</p>

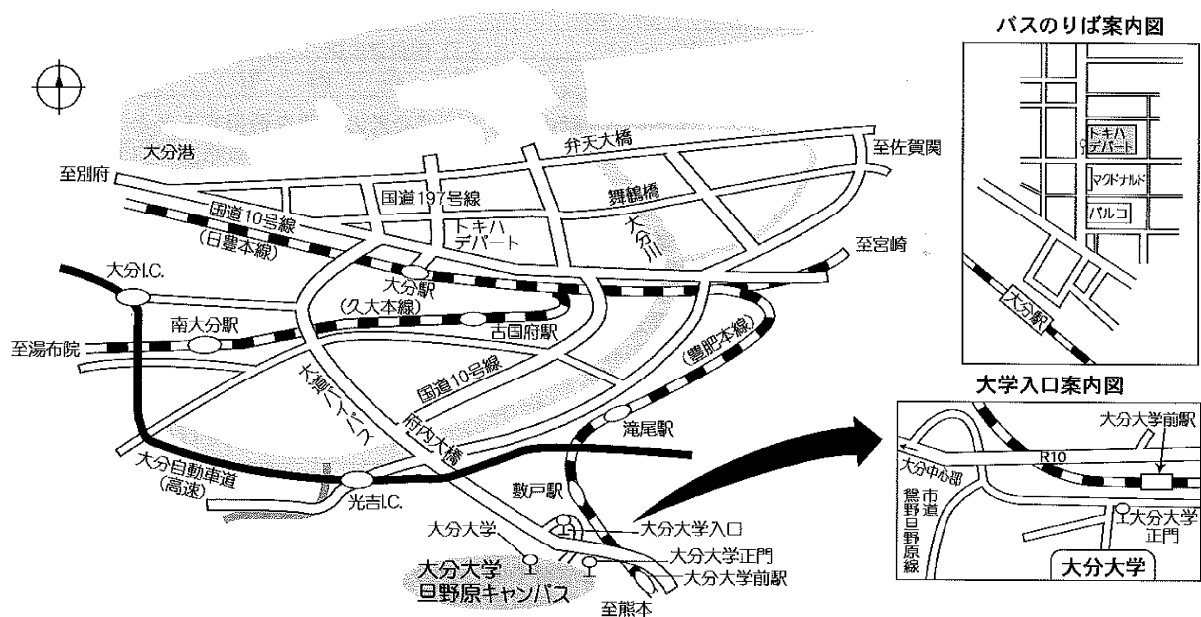
授 業 科 目 名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
基 礎 演 習	2	准教授 衣 笠 一 茂 教 授 奥 田 憲 昭 教 授 石 井 まこと 准教授 垣 田 裕 介 准教授 高 島 拓 哉 准教授 橋 本 美枝子 教 授 豊 田 寛 三 教 授 二 宮 孝 富 教 授 平 塚 良 子 教 授 深 田 聡 教 授 棕 野 美智子 教 授 山 岸 治 男	<p>(概要) 福祉施設・福祉行政・福祉関連企業などを含む福祉社会システムについて、法学・歴史学・社会学・経済学の方法を駆使した学際的なアプローチをするための基本的訓練と専門的・応用的能力を育成するための社会科学的手法について学習させる。</p> <p>社会的弱者を含め、すべての人が人間としての尊厳をもって生き、安心して生活できるための福祉方法論や福祉実践サービスのあり方に関する専門的・応用的能力の育成のために、その原理と実践について多面的に学習させる。</p> <p>(オムニバス方式)</p> <p>ソーシャルワークの方法と技術</p> <p>変貌する地域社会と地域福祉計画</p> <p>人事管理の変容と労働者福祉</p> <p>福祉政策研究の視点と方法</p> <p>自治体公共政策における福祉的視点</p> <p>精神保健とソーシャルワーク</p> <p>人の命の歴史を考える</p> <p>成年後見制度の運用状況と課題</p> <p>ソーシャルワークの原理と価値</p> <p>少子・高齢化に対応した社会保障制度</p> <p>地域と福祉政策</p> <p>ライフコースの形成過程における社会福祉の意義</p>

授 業 科 目 名	単位数	担当教員職・氏名	講義等の内容
基 礎 演 習		准教授 山 崎 栄 一	公共法政策—自然災害と社会福祉
福祉社会政策演習Ⅰ 福祉社会政策演習Ⅱ 福祉社会政策演習Ⅲ	各2	基 礎 演 習 担当教員から 1 名 を 選 択	基礎演習で習得した理論と分析方法の展開を促し、修士論文又はリサーチペーパーの作成に結びつく研究指導を行う。
人間社会福祉演習Ⅰ 人間社会福祉演習Ⅱ 人間社会福祉演習Ⅲ	各2	基 礎 演 習 担当教員から 1 名 を 選 択	基礎演習で習得した理論と分析方法の展開を促し、修士論文又はリサーチペーパーの作成に結びつく研究指導を行う。

※開設授業科目及び担当教員については、若干の変更があります。

◎ 検査場案内図

大分大学旦野原キャンパス位置図



●交通アクセス

<JR利用>

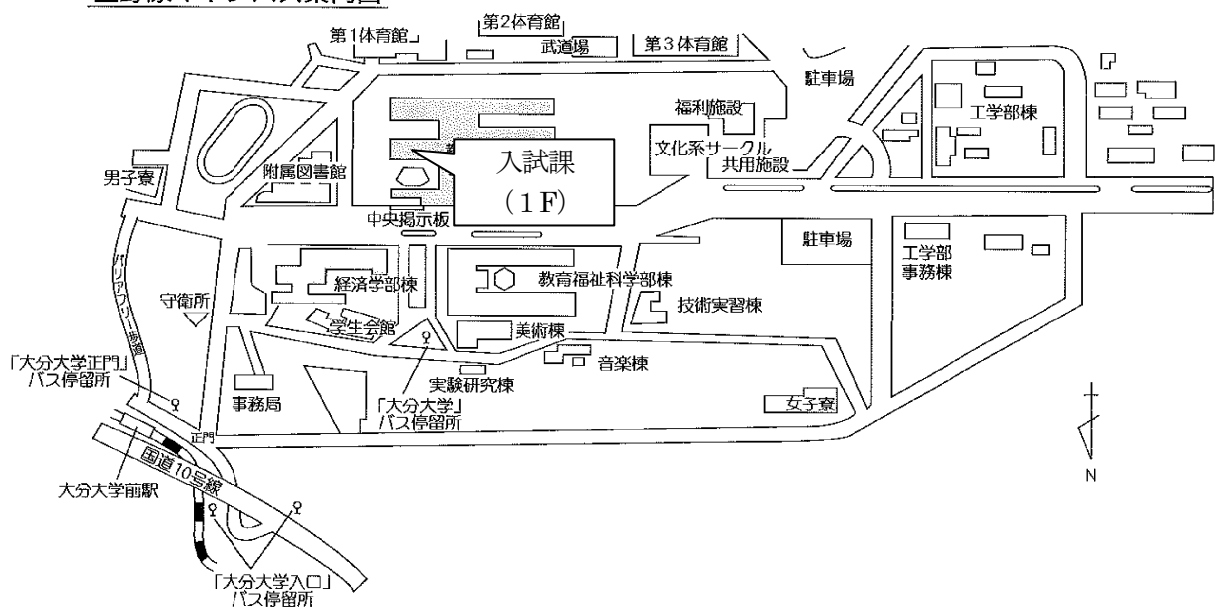
JR豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約12分：240円）、徒歩約5分。

<バス利用>

大分バス トキハデパート前から

- 「大南団地・高江ニュータウン」又は「大分大学」行きを利用。
「大分大学」又は「大分大学正門」下車…(約40分：360円)
- 「戸次、白杵、竹田、三重、佐伯行き」等を利用。
「大分大学入口」下車…(約40分：350円)、徒歩約10分

旦野原キャンパス案内図



— 大分大学学生支援部入試課 —

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

TEL. 097-554-7519

FAX. 097-554-7472

(E-mail nyukikak@ad.oita-u.ac.jp)

(URL <http://www.oita-u.ac.jp>)